

【総合問題④／成果連結(開始仕訳なし)】

P社は平成X1年12月31日にS社の発行済議決権付株式総数の60%を180,000円で取得した。

次の資料から連結第2年度の連結財務諸表(単位:円)を完成させなさい。

連結財務諸表作成上の留意事項(資料として与えられている事項以外は考慮しないこと)

- のれんは、支配獲得日の翌年度から10年間にわたり毎期均等償却を行う。
- 平成X1年12月31日～平成X3年12月31日にP社のS社株式の保有状況に変動はなかった。
- P社は、S社に対する売掛金を当期末20,000円保有している。なお、P社及びS社の貸倒引当金の設定率は毎期2%である。
- S社は、P社から仕入れた商品を当期末5,000円保有している。なお、P社の売上総利益率は毎期20%である。また、期中におけるP社のS社に対する売上高は75,000円であった。
- 当期にP社は簿価50,000円の土地をS社に100,000円で売却した。当該土地は引き続きS社が保有している。
- S社純資産の推移

	平成X1.12/31	平成X2.12/31
資本金	150,000	150,000
利益剰余金	50,000	90,000

7. 平成X3年度各社個別財務諸表

P社貸借対照表

平成X3年12月31日

現金預金	560,000	買掛金	300,000
売掛金	500,000	借入金	200,000
貸倒引当金	▲10,000	資本金	1,000,000
商品	120,000	利益剰余金	500,000
土地	650,000		
子会社株式	180,000		
	<u>2,000,000</u>		<u>2,000,000</u>

P社損益計算書

自平成X3年1月1日 至平成X3年12月31日

売上原価	1,200,000	売上高	1,500,000
販管費	150,000	受取配当金	50,000
当期純利益	250,000	土地売却益	50,000
	<u>1,600,000</u>		<u>1,600,000</u>

P社株主資本等変動計算書(利益剰余金)

自平成X3年1月1日 至平成X3年12月31日

剰余金の配当	100,000	当期首残高	350,000
当期末残高	500,000	当期純利益	250,000
	<u>600,000</u>		<u>600,000</u>

S社貸借対照表

平成X3年12月31日

現金預金	203,000	買掛金	100,000
売掛金	150,000	借入金	100,000
貸倒引当金	▲3,000	資本金	150,000
商品	50,000	利益剰余金	150,000
土地	100,000		
	<u>500,000</u>		<u>500,000</u>

S社損益計算書

自平成X3年1月1日 至平成X3年12月31日

売上原価	480,000	売上高	600,000
販管費	20,000		
当期純利益	100,000		
	<u>600,000</u>		<u>600,000</u>

S社株主資本等変動計算書(利益剰余金)

自平成X3年1月1日 至平成X3年12月31日

剰余金の配当	40,000	当期首残高	90,000
当期末残高	150,000	当期純利益	100,000
	<u>190,000</u>		<u>190,000</u>

【答案用紙】

平成 X3 年度連結貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日

(単位：円)


平成 X3 年度連結損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日

至平成 X3 年 12 月 31 日

(単位：円)

販 管 費	
の れ ん 償 却 額	

平成 X3 年度連結株主資本等変動計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日

至平成 X3 年 12 月 31 日

(単位：円)


【解答】

## 平成 X3 年度連結貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日

(単位:円)

現金預金	763,000	買掛金	380,000
売掛金	630,000	借入金	300,000
貸倒引当金	▲ 12,600	資本金	1,000,000
商品	169,000	利益剰余金	497,400
土地	700,000	非支配株主持分	120,000
のれん	48,000		
	<u>2,297,400</u>		<u>2,297,400</u>

## 平成 X3 年度連結損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日

至平成 X3 年 12 月 31 日

(単位:円)

売上原価	1,606,000	売上高	2,025,000
販管費	169,600	受取配当金	26,000
のれん償却額	6,000		
非支配株主に帰属する当期純利益	40,000		
親会社株主に帰属する当期純利益	229,400		
	<u>2,051,000</u>		<u>2,051,000</u>

## 平成 X3 年度連結株主資本等変動計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日

至平成 X3 年 12 月 31 日

(単位:円)

剰余金の配当	100,000	当期首残高	368,000
当期末残高	497,400	親会社株主に帰属する当期純利益	229,400
	<u>597,400</u>		<u>597,400</u>

売掛金 :  $630,000 = 500,000 + 150,000 - 20,000$ 貸倒引当金 :  $\blacktriangle 12,600 = 400 - 10,000 - 3,000$  or  $630,000 \times \blacktriangle 2\%$ 商品 :  $169,000 = 120,000 + 50,000 - 1,000$ 土地 :  $700,000 = 650,000 + 100,000 - 50,000$ 買掛金 :  $380,000 = 300,000 + 100,000 - 20,000$ 売上高 :  $2,025,000 = 1,500,000 + 600,000 - 75,000$ 土地売却益 :  $0 = 50,000 - 50,000$ 売上原価 :  $1,606,000 = 1,200,000 + 480,000 - 75,000 + 1,000$ 販管費 :  $169,600 = 150,000 + 20,000 - 400$

【総合問題④／成果連結(開始仕訳あり)】

P社は平成X1年12月31日にS社の発行済議決権付株式総数の60%を180,000円で取得した。

次の資料から連結第2年度の連結財務諸表(単位:円)を完成させなさい。

連結財務諸表作成上の留意事項(資料として与えられている事項以外は考慮しないこと)

1. のれんは、支配獲得日の翌年度から10年間にわたり毎期均等償却を行う。
2. 平成X1年12月31日～平成X3年12月31日にP社のS社株式の保有状況に変動はなかった。
3. P社は、S社に対する売掛金を前期末10,000円、当期末20,000円保有している。なお、P社及びS社の貸倒引当金の設定率は毎期2%である。
4. S社は、P社から仕入れた商品を前期末4,000円、当期末5,000円保有している。なお、P社の売上総利益率は毎期20%である。また、期中におけるP社のS社に対する売上高は75,000円であった。
5. 前期にP社は簿価50,000円の土地をS社に100,000円で売却した。当該土地は引き続きS社が保有している。
6. S社純資産の推移

	平成X1.12/31	平成X2.12/31
資本金	150,000	150,000
利益剰余金	50,000	90,000

7. 平成X3年度各社個別財務諸表

P社貸借対照表

平成X3年12月31日

現金預金	560,000	買掛金	300,000
売掛金	500,000	借入金	200,000
貸倒引当金	▲10,000	資本金	1,000,000
商品	120,000	利益剰余金	500,000
土地	650,000		
子会社株式	180,000		
	<u>2,000,000</u>		<u>2,000,000</u>

P社損益計算書

自平成X3年1月1日 至平成X3年12月31日

売上原価	1,200,000	売上高	1,500,000
販管費	150,000	受取配当金	50,000
当期純利益	200,000		
	<u>1,550,000</u>		<u>1,550,000</u>

P社株主資本等変動計算書(利益剰余金)

自平成X3年1月1日 至平成X3年12月31日

剰余金の配当	100,000	当期首残高	400,000
当期末残高	500,000	当期純利益	200,000
	<u>600,000</u>		<u>600,000</u>

S社貸借対照表

平成X3年12月31日

現金預金	203,000	買掛金	100,000
売掛金	150,000	借入金	100,000
貸倒引当金	▲3,000	資本金	150,000
商品	50,000	利益剰余金	150,000
土地	100,000		
	<u>500,000</u>		<u>500,000</u>

S社損益計算書

自平成X3年1月1日 至平成X3年12月31日

売上原価	480,000	売上高	600,000
販管費	20,000		
当期純利益	100,000		
	<u>600,000</u>		<u>600,000</u>

S社株主資本等変動計算書(利益剰余金)

自平成X3年1月1日 至平成X3年12月31日

剰余金の配当	40,000	当期首残高	90,000
当期末残高	150,000	当期純利益	100,000
	<u>190,000</u>		<u>190,000</u>

【答案用紙】

平成 X3 年度連結貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日

(単位:円)


平成 X3 年度連結損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日

至平成 X3 年 12 月 31 日

(単位:円)

販 管 費 の れ ん 償 却 額	

平成 X3 年度連結株主資本等変動計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日

至平成 X3 年 12 月 31 日

(単位:円)


【解答】

## 平成 X3 年度連結貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日

(単位:円)

現金預金	763,000	買掛金	380,000
売掛金	630,000	借入金	300,000
貸倒引当金	▲ 12,600	資本金	1,000,000
商品	169,000	利益剰余金	497,400
土地	700,000	非支配株主持分	120,000
のれん	48,000		
	<u>2,297,400</u>		<u>2,297,400</u>

## 平成 X3 年度連結損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日

至平成 X3 年 12 月 31 日

(単位:円)

売上原価	1,605,200	売上高	2,025,000
販管費	169,800	受取配当金	26,000
のれん償却額	6,000		
非支配株主に帰属する当期純利益	40,000		
親会社株主に帰属する当期純利益	230,000		
	<u>2,051,000</u>		<u>2,051,000</u>

## 平成 X3 年度連結株主資本等変動計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日

至平成 X3 年 12 月 31 日

(単位:円)

剰余金の配当	100,000	当期首残高	367,400
当期末残高	497,400	親会社株主に帰属する当期純利益	230,000
	<u>597,400</u>		<u>597,400</u>

売掛金 :  $630,000 = 500,000 + 150,000 - 20,000$ 貸倒引当金 :  $\blacktriangle 12,600 = 400 - 10,000 - 3,000$  or  $630,000 \times \blacktriangle 2\%$ 商品 :  $169,000 = 120,000 + 50,000 - 1,000$ 土地 :  $700,000 = 650,000 + 100,000 - 50,000$ 買掛金 :  $380,000 = 300,000 + 100,000 - 20,000$ 売上高 :  $2,025,000 = 1,500,000 + 600,000 - 75,000$ 売上原価 :  $1,605,200 = 1,200,000 + 480,000 - 75,000 - 800 + 1,000$ 販管費 :  $169,800 = 150,000 + 20,000 + 200 - 400$